

NEWS LETTER vol.10

発行/2022年3月31日 発行者/永井まさと 〒239-0813 神奈川県横須賀市鴨居3-5-5 <http://www.yumeyokosuka.com/>

3月定例議会が終了 政策提言が多く反映

3月定例議会における予算審査

4月からの新年度予算を審査する3月定例議会が終了しました。2月24日には私が会派「よこすか未来会議」を代表して加藤ゆうすけ議員が登壇し、市長と議論を交わしました。昨年10月に市長に手交している政策提言2022とあわせて、多くの項目について提言が反映されていることを確認しました。内容の詳細は別途資料を作成中で、4月下旬に会派HPにて公表する予定です。



←代表質問発言通告書

代表質問録画中継→



予算以外では、猿島公園トイレ契約変更議案について都市整備常任委員会にて多くの質疑がありました。当初約3億円かかる見積もられていた工事を議会の指摘を受けて7千万円減額して議決していた契約案件でしたが、その後当初想定以上に地盤が軟弱であったことに加え、波の影響も大きく、工事の進捗が遅れ工程の見直しが必要になったことから、約4千万円を増額する補正議案が提出されました。猿島については、コロナ後の観光の重要スポットとして力を入れるべきと私も考えています。市民の税金を多く投入するという一方で、なるべくお金のかからないようにという配慮から、ギリギリの見積もりをし、結局足りなくなってしまうという事案は少なくありません。かといって、慎重になりすぎていたのでは新しいことができなくなることも事実です。委員会では、挑戦を恐れずやってみようという気持ちを大切にしつつ、事前の調査をしっかり行う姿勢を大事にしてほしいという意見も出されました。

子育て総合支援拠点「すくすくかん」4月スタート

市立中央こども園、病児・病後児保育センター、愛らんど、一時預かり保育室、ファミリー・サポート・センターが配置された子育て総合支援拠点「すくすくかん」が4月にスタートします。



横須賀市の職員厚生会館だったところをリニューアルしました。新築ではないため、心配もありましたが、実際見てみると綺麗に仕上がっており、老朽化した園舎だったうわまち保育園、鶴が丘保育園の代替とし

5階	愛らんどよこすか、一時預かり保育室
4階	ファミリー・サポート・センター 研修室
3階	市立中央こども園
2階	
1階	中央こども園 病児・病後児保育センター

てやっと完成した中央こども園をはじめとする「すくすくかん」に、議会として関わってきた私としても感慨一入でした。

咸臨丸フェスティバル開催予定

コロナ禍になってこの2年、大規模なイベントはことごとく中止になりました。毎年浦賀ドックで開催されている咸臨丸フェスティバルもそのうちの一つです。今年は4月23日(土)に開催予定で、事前申込み制(5000人)にて計画されています。この規模のイベントが開催されれば、コロナ禍になって初となります。この2年で1人1人が感染対策について日常生活の中で慣れてきていること、イベント会場での感染対策を徹底していること、また地域コミュニティ維持のためにもこうした行事をどこかの時点で徐々に始めていかなければならないことなどから、開催は妥当な判断だと思います。今後の感染状況にもよりますが、今回のイベントがもし予定通り開催されれば、今後予定されている大規模イベントの一つの試金石であり、モデルケースになるでしょう。私が会長をつとめる「掃海母艦うらが後援会」ブースも出店予定です。参加を考えている方は4月11日から横須賀市HPにて事前申し込みをすることができます。



←横須賀市観光情報HP

横須賀市公式HP→



2022春 未来会議を開催します

私が所属する会派「よこすか未来会議」は、2022春未来会議を開催します。昨年10月に市長に手交した「政策提言2022」および、2月24日の本会議での代表質問を通じて、会派提案の政策がどのくらい新年度予算に反映されているのかをお伝えし、皆様からご意見をいただく広聴会で、毎年3月定例議会後の4～5月頃に開催しています。参加は事前申込制となります。広聴会の詳細は4月中旬に会派HPおよびタウンニュースに掲載します。また会派マニフェスト、過去の政策提言は会派HPからダウンロードできます。今回の資料も4月中旬にアップ予定です。



よこすか未来会議

2021年10月～2022年3月

永井まさとの主な役職

- よこすか未来会議 団長
- 都市整備常任委員会 副委員長
- 議会制度検討会議 副委員長
- 新型コロナウイルス感染症対策検討協議会 副委員長
- 都市計画審議会委員